

# 13

吉田雷太  
things

眞実と紬。  
Enjition





京都の山科いうところですね。

大学を出るまでは実家の山科で暮らしながらいう感じですね。

親父が店をやったところに五社英雄さんという映画監督が

ずっと常連さんで来てくださって、名付けてくれはったんです。

本名ですかっていうのは、めっちゃ聞かれます。

デッサンも油絵もできひんかったから、もう早々にそういうまっすぐな絵画の道には行けませんでしたね。

雷太：子供の頃、広告の折込の裏が白紙のやつをとりあえずピクアアップして、夜、暇やったらボールペンとか鉛筆でなんかずつと描いている感じはありましたね。チラシの好みがあるじゃないですか。ちよつとザラついてんのがエーとか、ツルツとしてるほうがエーとか。だから、テレビ見る以外の子供の遊びとしては絵描くとか、そんなのはベースにあったとは思いますが、もうホンマにテスト裏とか落書きとかずつとしてたっていう感じはありますね。別に自分が芸大に行きたいって、自分から考えて親に言うとかいう形ではなくて、うちの親父の店でずつと俺も働いてたんですよ。中学ぐらいから。今の店（雷太さんが経営する喫茶・スペース山福）のホンマに徒歩1分ぐらいのところにあったんですけど、今ちょっと移転したんですけど、そこが学校終わって通つて、なんか高校の担任の先生が、ものすごく目かけてくれて、先生もよく店に来てくれてはってっていう感じの中で、「どうすんねん、将来言われて、「別に特に大学とかも全然興味ないし、なんか適当にバイトして働きますわ」言うてたら、「なんか、なんかいい？」みたいな、「高校の時でなんか好きなこととか、なんか好きな科目とか、例えばなにか？」みたいなこと言われて、「別になんないけど、まあ美術は楽しかったかな？」みたいなことチラッと言ったら、次、会った時にもう関西圏の美大の資料全部持ってきてくれて、「どれでもいい、ちよつとだけでもいいから、もしよかつたら目通して」って、で、目に付いた大学やっただけで、オーブンキャンパス行つたんですけど、オーブンキャンパス行つたという話です。今は全く合わないことはいですね。じゃあちよつと一緒に行きませんでしたよ。先生の妹さんが台湾にいはつて、在学中に台湾に連れてつてもうてみたいな感じですね。面白い方ですね。先生が完全に導いてくれたなと

は思ってますけどね。  
僕は技術が全くなかったもんで。

雷太：独学でオーブンキャンパスの資料に描いてあるデッサンの絵を見て描くみたいな、何から始めていいかわからへんかったから、そんなんでモチーフになつてガラスの瓶とか描いてたんですけど、やっぱり、こうなかって感じじゃ。しかも、親父の店行って帰ってから夜11時から描いているみたいな感じじゃから。ほんで、ちよつとだけ結局、面藝みたいなとこ入ったんですけど、他の子に比べてデッサン能力とかめっちゃくちゃ低いんですよ。油とかも。だからほとんどこつちの感じ、正統派でいくんがちゃうなあと思つたし。まあ言うても僕が芸大に惹かれたのは、めっちゃくちゃ自由なところですよ。一番なんでもできると思つて。しかも、かつこいと思つて。そういうところが良くて、なんか地道に勉強するっていうか、もつとなんか衝動的なことやりたいなみたいな。合評会みたいななんあるじゃないですか。自分で作ったもんパツと出してプレゼンするみたいな。そんな時にデッサンとかそつちの道であかんから、絵の具とかぶちまけ始めたんですよ。ンキ持つて脚立の上にフー登つてキャンパス下に置いて、アクシオンペインティングみたいなこととです。全然知らないんですよ、その知識はないけど自分の衝動をおち撒ける術として、そういうことをやり始めたんですよ。なんかそつちから、オモロなやつきて、完全に一日絵を描くっていう技術放棄してからですかね、表現楽しいなと思えたのは。自分の作品はそういう感じで展開して、それから、ええ友達で周りにおつたんで、空間を作るようなインスタレーションみたいな流れになつてきましたね。何人かで単管組んでギヤラリーの中に一室、ドア開けたら昔からやつての喫茶とかバーみたいなスペースを作る作品をやり始めました。その延長はずつと今でも続いているよ

# 吉田 雷太

## 裏技人生。

正攻法じゃないやり方で生きていくって感じですよ。

お金がないとでけへんっていう価値観があるとして、それの真逆のやり方を見せてやりたいとは思いますが。お金なくても他の事で解決して、こんだけええ思いできるでみたいなことは沢山あるんですけど、みんなその方法論を知らなさすぎだと思います。机が欲しいなら作るっていう選択肢もあるじゃないですか。みんな机が欲しいんやったら、まずネットで探して、ほしいやつやったら5万するな、つてことは5万稼がなあかんっていう発想なんですよ。でも、机が欲しいんですよ。机が欲しいんなら机を得る「裏技」をいろんな角度から考えたらええやん。全部がそうです。経験でもそうやし、なんでも、物じゃなくても。

うな感覚はありますね。空間を作るっていうこのオモロさ。なんか思うんは、絵つてめっちゃくちゃシンプルな世界じゃないですか。その中ですべてを表現しきつてるわけじゃないですか。僕はそれができひんっていうか、まあ絵描くのは好きやけど、絵すら一個のアイテムみたいな感覚があつて、それがあつて、そこに人がいて、その鑑賞体験とかそつちの方が興味あるっていうか、なんかね、空間つてすごい人に作用しやすいみたいな気がするんですよ。

お店も自宅も素敵な空間ですが、二人で考えるのですか？

雷太：配置とか整理整頓は真実（雷太さんの奥さん）ですよ。

真実：例えばここにこういうもん作るうとか、こういう使い方しよとかは、私、好きなんです。

雷太：彼女は機能性を考えるのが上手いんですよ。動線とかこういう風にしたら、こんだけ席が取れるよなっていうところから、例えばコーヒールを入れるのに無駄な動線なく配置するとか、皿をここに、段つてこうするとか、そういう実用性の部分が多い。僕が空間作るっていうのはビジュアルの部分とか人を驚かさうということなんですよ。

真実：ここ家も最初ポロポロで、前の人の荷物パンパンで、床も剥いてある状態の時に、家の使い方は大体見えてたっていうか、こんなんしたらええわつて、私が持つてるな？ゴールのイメージ図っていうか、こうしたらどうみたいな。

お住まいは、最初、雨漏りなどでかなり傷んでいたようですが？

真実：そうじゃないっていうか、自分の予算で、自分の生き方で、そんな整った家を借りるっていう選択肢

がないのと、自分の荷物の量を考えたら、それには、もう、作つて直す所しか無理やろっていうのはあるから。作りたいうか、まあ、そんなんなわな（笑）。でも修理、間取りもどうやつていいよって言われたし、「あつ、やつたー」みたいなもあつたよ。

雷太：全然違うイメージやつたところ、また違う空間を自分らが作つて提供するみたいなことは、最初に言ったギヤラリースペースに、ギヤラリーなんやけど開けたら中がそういう空間になつて。空間つてそういうことでびっくりさせられるっていうか、変容させれるから、その辺からですね。家はそういう意味じゃ住まいやけど、伊勢志摩の友達が海女さんになつたこの漁師の小屋に一日だけ居酒屋やりに行つたんですよ。カウntax作つて酒並べて、居酒屋の要素を揃えてライティング変えると、普段昆布とか干してる小屋が激変する。魔法がけれる感覚があつて、凄いオモロいですよ。

真実：そこにしつかりした料理が入ることで、よりオモロさが増すっていうか、よりちゃんとしたモノに仕上がります。そこで実際自分が食べるっていうのは、もうなんか体験しちゃうっていうか。私はそれがめっちゃいいなと思つて。お店もそうやし、ふざけたセツトみたいなことも、美味しいもんだされたら、もの凄いいストンとその人は落ちるっていうか、料理はそういう脱得力を持つてるから、仕掛けの最後のドンっていうのが料理。

（山福）の始まりは？

真実：前、住んでた家の最寄駅の近くに（山福）っていう定食屋があつたんですけど。おっちゃん、おばちゃん夫婦がやつて、みんなの食卓みたいな、そんな綺麗じゃないけど、その辺のおばちゃんが毎日ビール飲んでるみたいな。そこが美味しくて、よう、ちよちよこ行つて喋つて、「もう、閉めんねん」って言うから、「えっ」って、「健康な時に辞めて、二人で店しか



毎日絶対笑うようにしてるな。

笑う状況にあるといいなと思ってる。

# 吉田真実

## 笑い。

私は大阪ですね。大学出て喫茶店やっていたんですよ。自分でもそこも拾ったみたい。私、それはもう昔から高校とか中学から、自分の好きなこといっぱいやりたかったら、何個職つかなあかんねんと思ったから。全部できんのかって自分のお店持つことやと思ってたんですよ。自分のお店にしたら、何屋にしろ、好きなもん飾って、好きな空間作って、本とかも好きやったし、自分の好きなことできるやんと思ってる。店っていいな。自由度高いな。と思ってる。就活自体はもう何もする気なかったから、就活してぐったりしてる友達で全員。そんな今から未来やつという時に、なんでこんなぐったりして生きていかなあかんねんみたいな。「これ絶対騙されてる。やったあかん。こんなおかしな。おかしなことなってるな。就職はないなあ。どうしよう？」と思って、大学の帰りに喫茶店見つけて、ポロポロでもう廃業してて、周りに聞いて、持ち主探して、「ここやらないんですか？」って言ったら、「あつ、やる？」みたいな、「片付けてくれるんやったらいいよ」「片付けて犬がいるから、その犬の面倒見てくれるんやったら、やったら」みたいな(笑)。

やってへんから、旅行でも行きたい。元気なうちに辞めねん」って言うて「でも、寂しいけどまあ、それはいい考えですな」みたいな。ちょうど二人でケータリングとか出店とかやってたんで、店舗はなかったけど、屋号決めてなかったんで、「屋号うちも山福にしていいですか？」て聞いたら快諾してもらって、常連さんには「え！ほんならここや！ここは「え！」て言われましたけど(笑)。長年一生懸命商売してきはった店閉める時って、切ない感じがよくありがちですけど、夫婦の健康と楽しさを優先されたのは素敵やなあ、自分もこんな夫婦なれたらええなあと思ってる。山の福で縁起もええ感じやし。

僕は不動産がめっちゃくちや好きで不動産サイトを常に何個かブックマークして、毎日チェックしてるんです。

雷太..でもまあ、それは普通の不動産サイトじゃなくて、京都のやつが4つぐらいあって、その他全国の田舎の格安物件とか面白物件を紹介してるサイトを見てるんですよ。それを見るから、なんて言うんですか。どんどん、どんどん、ホンマに0円とかの田舎の物件も出てきてるし、うん。で、まあ田舎に住んだら、前やったら、じゃあ仕事どうすんねんとかいう感じやと思うんですよ。北海道とかめっちゃ多いんですけど、こないだ見たやつで凄いなあと思っただけ、北海道のやつで、古民家じゃなくてビルみたいな感じですね。文房具屋やっています、小売具屋の今の仕事っていうのは、小学校とかなんかいってる中学校とかに卸したりもしてる。だからまあ面白い仕事やと思うんですよ。年間収入決まってちゃんとある。この仕事も付いてこの家も全部あげますっていうのめっちゃアツいでしょう。しかも、大体、田舎やったら農地があります。でも就農資格持ってる人じゃないとこれは入手できませんっていう話ですけど、それやったらそんな資格もいらんではないですか。しかも、知らないじゃないですか。

雷太..これもほいほいっていうもんがあった、買うっていう手段は、僕らにとっては最終手段。時間がないとかそういうことですよ。目的としてはお金が欲しいんじやなくて、お金で得られる体験やったり、物やったりが欲しいわけじゃないですか。それやったら、どうやったらそれが無料とか物々交換とか、格安で体験できるのかとか、裏技から考えるんですよ。そっちの方法論でそれをゲットした時の方が絶対オモロくて、お金の付き合ひ方の感覚はちょっとスレてるんやろうなと思います。

雷太..要らんって一回切ったら流れが止まりそうじゃないですか。

雷太..仕事の感覚と一緒に、仕事でも

雷太..これ全部ゴミやんって時もあるけど、この子に言うたら、もう何でも持って行くって思われてたい。今回、全部いらんし、なんやったら何千円か出して捨てる行かなあかんけど、でもそこは買っところみたいなあるな。

雷太..物の話は単純にそれで分かりやすいけど、でも家とか借りてる物件とか全部そんな感じですよ。これも不動産屋では一切探して見つけてないです。ホンマに何処でもええし、引越先探して、でも僕らの予算がもうめっちゃくちや安いところで、岡山とかも行ったし、まあ兵庫、いろんなところ。とりあえず人に話を聞いて振って、引越すからええ物件ない？っていうなかで出てきた物件やから、普通で考えたら、物件探してんの？不動産屋行ったらええやんって話しやけど、いや、そうじゃないねんと、そうじゃないところで見つかるとこ探してねんって言う探し方やったんで、家はめっちゃ格安で借りてますし、今の店も別に街中で飲食店やりたいと思って探した場所ではないし、知り合いの人から声をかけてもらったからやってるし、全部そうです。だから物だけじゃなくて不動産とかに聞いてもそういう感覚ですね。縁です。縁とかそういう流れはめっちゃめっちゃ大事にしてるし、そういう風な感じで見つける方が、絶対繋がるべきところか、やるべき店とか、住むべき家とか、そういうことなやろなって思うんですよ。より自然な流れに任せ。

雷太..俺らは、誰かしらにずっと助けられて生きてきてると思ってるんです。感覚は全くないんで、ご縁とホンマにサポートしてくれてる人がいて、そういうのは、ホンマに常々そうなんです。そういう人たちは変わっていくと、先でも常々、誰かそういう人がいる気はするんですよ(笑)。そういう変な自負はあります。

雷太..年重ねるうちに、もちろん体力下がって。お金は昔よりはちょっとある気はするけど、出ていく額も増えているし、あれかもしれんけど、じゃ何が明らかにアップしてるかって言うたら人脈やと思います。人、ありがたいことに、ええご縁に恵まれるんで、オモロい人にはいっぱい出会えるんです。お金と通う刺激めっちゃ貰います。体力下がって、そっちでカバーできることは増えてくんのかなって言う気がします。ええ、だから言ったら、もつと若い子の付き合ひをしてみた方がいいかもしれんなと思ってる。

雷太..どうしても年上になっちゃうな、ほつといた。究極、お金なんかある人がくれたらええやんって思ってるから、私は(笑)。

雷太..これをハッキリ言っちゃうんですよ。

雷太..俺らは、誰かしらにずっと助けられて生きてきてると思ってるんです。感覚は全くないんで、ご縁とホンマにサポートしてくれてる人がいて、そういうのは、ホンマに常々そうなんです。そういう人たちは変わっていくと、先でも常々、誰かそういう人がいる気はするんですよ(笑)。そういう変な自負はあります。

雷太..俺らは、誰かしらにずっと助けられて生きてきてると思ってるんです。感覚は全くないんで、ご縁とホンマにサポートしてくれてる人がいて、そういうのは、ホンマに常々そうなんです。そういう人たちは変わっていくと、先でも常々、誰かそういう人がいる気はするんですよ(笑)。そういう変な自負はあります。



贅沢なお産でした。

ここで生まれたんですよ、この子。

自宅出産なんです。出張開業助産師さんをお願いして。昔でいう産婆さんですね。助産院や自宅出産での条件がどんどん厳しなってるんで、もう産めたら、できたらいいなって感じで、もう今、戦後90%以上やった自宅出産が1%以下になって、真逆になってるんですよ。病院と。もった多くの人が知ってもらって選択できたらいなくなってるくらい自然で良かったです。なんかもう、私が決めること、決めれることなんか何もないんやっという無力さと凄さみたいな。この人が生まれたように生まれてくるし。私はホンマに体質してただけなんやっというのが妙に樂つていうか。私が頑張らなみたいなんいらんねや、思うように管理出来ることなんか無いって感じですね。私はただのご飯で、ただの容れ物やから、生まれてくる人が全部決めてるし、それでいいんやっって、出てきた時にもう完全体なんやっって、生まれただけでええんや、やっぱそうやと思つて。色んな思いつて頑張つてなんかになるとかないんやなあと思つて。全員こうやっつて生まれてきたんやから、それであがりやん。人になって出てくるだけで十分やんみたいな感じ。最近はずいぶん思いますよ。何にもならんでもええし、なつてもいいし、みたいな感じですね。

いなら、くれたらいいやん。ホンマに思ってます(笑)。

雷太.. パツと思ったことか、腹立ってあつたことか、感情でものを言おうとは思いません、一切。誰か友達とかに関しても、これはこう言った方がいいなとか、注意するべきやなとか思つたことか、自分が腹立ってるのは絶対言わないです。感情で言つたら絶対あかんから、怒りが抜けてホンマにその人に響くタイミング、今やたら入るかなつて思うタイミングでしか物言わないです。

雷太.. 先生みたいやな(笑)。女もそうじゃないですか。そんなときにムラあるみたいな。それを全然パツンって跳ね返したりいしんし、流してくれるし。

雷太.. それを矯正した気もしますね。元々の気質は短気なんです。性格は。兄貴とかオカンからしたら、めっちゃ短気な子やつたて言うんですよ。小学校くらいまでは、自分で自分を覚えてた部分はあつたような気がしますが、それが不思議で具体的なきっかけは自分で分からないんです。ただ自立を意識したつていうのは二つあって、中1の夏休みにオーストラリアに約一ヶ月行ったこと。中1の夏休みからbe動詞ぐらいしか習つてないわけですよ。「Be」みたいな、言えて「Be」のくらの話。まったく喋れへん状態でホームステイして、学校30日近く通つたんですよ。親父の店の常理さんでオーストラリアと日本で二重生活してる方がいはつて、ある時、その方と縁がある

雷太.. 力を堪えて堪えてい、堪える時間もつたないやんって思ふから、もう常にずっと笑ってる。毎日ちゃんと笑えてる延長で十分やっつて思ふから。例えば登山でしんどいからこの達成感というのが、あんまりわからへんっていうか、別に飛行機で行つても、ロープウェイで行つても、景色に感動する気持ちはさあやたら一緒やんやっつて思ふ派やから。それが自分が楽しくてめっちゃ感動するんやつたらそれでいいし。スルしてしまつたつて思う方が損じやないですか。気持ち次第やからめっちゃラクキって思えてたらしいだけやなあと思ふんで。まあ、自分にめっちゃ甘い人と厳しい人。

今なんやな。雷太.. 何でもそうやけど、出会うべき時に会う人に出会って、来るべき時に来るもんが来るつていうような感覚があるんで。

雷太.. わりと流されるままにしてるとこはしてる感じですね。あつ、そういう時なんや。寝我して骨折つたりしても、そういう時なんや、止まれつていうことなんや。

雷太.. そういう受け入れ方はしますね。なんでやねん、なんでやねんつていうよりか、何をそういうメッセージなんやなつてスゲー思いますね。今、山福やつてんのもそうしな。なんでもこんな街中で店やつてんのかなつていうのを不思議に思う感覚はないんですよ。そういう発想の人ではないんで僕ら二人とも。あの場所昔、天ぶら屋さんやつたんですよ。天ぶらつて揚げもん、練物とか揚げて。うちのオカンの買ったおばあちゃんにそれをよく買に行つた。ほんで、うちのオカンもおばあちゃんに頼まれて天ぶらを買つた場所、今、俺がやつてるんですよ。だから縁があるつちやあるかもしれんしね。親父の店に働きに行く時に毎日あの前を通つたんで、よく。当時あんなところで商売するなんて思つてなかったから不思議です。

オーストラリアの学校の先生が京都に修学旅行に来てと、で、もし行きたいなら今のタイミングで会つて話してみたらどうやっつていうことか、兄貴と二人で会つて。兄貴中3、僕中1で、「まあ、行こ思つたら行けるけど、どうする。」つて言われた。兄貴はあんまり乗り気じゃなかった。僕よりかはあんまり感じやつたし、僕は何でかわからへんけど「二人でも行く。」つていうんですよ。なんか変わらなあかんやっつて思つたんですよ。うちのオカンは、つと子供を海外に行かしたつていうのがあつて、思いを汲もうとしたんかなつて、予想なんですけど、僕、僕い喘息持ちやつたんで、小児喘息で、向こうで喘息なつた時に英語でどう症状を伝えていいかわからへんし、母親にも甘えられへんから、ちよつと自動的に自分の体のことか思つたりみたいな。それはいい刺激やつたつていうのが一個と。あと、中2から親父の店に手伝いに行き始めたんですよ。僕い大人の世界で、この辺が自分をどんとん変えて大人って言われるようなことか、そつから出てきた性格なのかなと思ふますけど、ね。店で働いてる感じの方が、僕にとつてはサッカーとかの部活に夢中になるような感じで、大人の世界で働いて、バイト代貰つて、服好きやつたんで服こつてみたいなんですが、ステイ自分か大人になつてる感じがして、早よ大人になりたいと思つてたから嬉しかったです。

自分で解決できるんやつたらしちやおうと思うから、自分が今いんどう状況とか人に言わないんで、僕。

雷太.. 自分に厳しいんです。めつちや。だから、頑張るとこまで頑張るし、倒れるまで働けし、しんどくても頑張る感じなんです。そもそのタイプとしては止まらな死め魚みたいな感じなんです。私はそれを常々いろんなやつらに言っているんですよ、サボるやつらで言っているやつらで思つて。私は苦労したらいいことあるつて思つてない人なんです。努力

雷太.. 長期で出店してると感じ(笑)。雷太.. 愛憎はあるけど、場所とか物に執着はあんまりしようにしてるかな。雷太.. この家もそうやけど、いつ出て行くかわからなつて思つてるなあ。

雷太.. でも、いるうちは目一杯使つて遊んでやろうみたいな感じ。ずつと持つてる自信が無いから、これがいつでどんどん変わつていくやろうから。雷太.. 京都はいい場所やと思ひます。今後、離れるにしても、京都のどっかに拠点があるのはいいなと思ひますけど。

雷太.. 帰つてこられる場所みたいのあつたらいいなあ。雷太.. もつともつと自由になれるかもとは思ひますけど。

# Edition

No.13

2021年3月発行  
発行人/佐藤大輔  
発行/株式会社宅配広告社  
〒164-0013  
東京都中野区弥生町4-25-4  
南中野天野マンション1階  
TEL.03-5328-1700  
FAX.03-5328-1715  
<https://takukou.co.jp/>

無断転写、複製、複写の一切を禁ず

## Contact

edition@takukou.co.jp



宅配広告社  
TAKUHAI AD CO.

## 喫茶・スペース 山福

12時~19時  
山福休み/火・水 (各店は営業)  
☎075-253-6996  
〒904-0961  
京都市中京区木町通三条下石山町126-1

yama-fuku.com

Instagram





# 山福でござんにちは。



飲食業・空間再生・店舗改装・イベント企画などを展開する夫婦ユニット『山福』です。面白い人や場所と関わりながら、思考発想することを大切に活動しています。現在は京都三条大橋に喫茶とスペースの店舗を構え、共同運営のホホ木座さんと一緒にイベントなど企画中です。

**TAKE  
FREE**

ご自由に  
お持ち帰り下さい。